

寸言

一般社団法人
日本航空宇宙工業会
常務理事
山北 和之



JA2018 TOKYOの成功と我が国航空宇宙産業の一層の発展に向けて

当工業会は本年11月28日～30日に東京ビッグサイトと共催で国際航空宇宙展2018東京（JA2018 TOKYO）を開催します。出展申し込みは昨年7月から開始され、本年5月末を締切りと設定していましたが、この3月中旬、申し込みが出展可能小間数に達したため通常の出展受付を終了しました。予想を上回る多数の出展者様から御支持を頂いたことに共催者共々深く感謝申し上げる次第です。今回、多くのお申し込みに対応するため会場運営側と調整し、当初計画から35%以上の小間数の展示スペースを新たに追加致しました。しかしついにキャンセル待ちでの受付となり、お待ちの企業・団体の皆様にご迷惑・ご心配をお掛けしていること、深くお詫び申し上げます。

JA2018 TOKYOは、成功裏に終えることができたJA2016とその次のJA2021とが5年空くことから、JA2016で盛り上がった我が国産業会の機運を維持しJA2021につなげるため、ビジネスに特化した比較的小規模な展示会として計画をスタートさせました。実施を正式に決意したのがおよそ一年前であったこともあり、色々なリスクも心配致しましたが、なんとか現在地点まで辿りつくことができた、というのが担当一同の率直な思いです。今後、展示規則の提示、キャンセル待ちの皆様への対応、フロアプランの計画、出展者説明会の開催など、順次計画に沿って進めて参ります。会員企業を始めとする皆様の引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

このように航空宇宙工業の機運が世界的に盛り上がっている要因としては、日本の防衛技術に対する海外の関心が高まっていることが一つあると思います。JA2016のときと同様、防衛装備庁も本展示会への参加を検討中ですし、多くの海外企業・団体からお申し込みを頂いている点も同じです。このほか、民間航空機の今後の市場予測が世界的

に明るいことなど多くの前向きな材料がそろっていますが、なんといっても世界の航空宇宙産業が優秀な日本企業を探しており、日本にはその高い技術を持つ企業が中小をはじめ多くあることや、地方自治体を中心に活躍している航空産業クラスターが存在することが一番の要因ではないでしょうか。

展示会の企画としては、各省庁及び世界の工業会のキーパーソンによる基調講演及び特別講演を皮切りに、民間及び防衛の航空・宇宙等をテーマとした多くの有益なセミナーや3Dプリンターなどの最新技術セミナー、ベンチャー宇宙ビジネスに関する講演なども検討しています。前回のJA2016を超えるものを準備したいと存じますので、ご期待ください。

今回の会場の面積はJA2016に比べ約半分となるものの、同一フロアのまとまったエリアにJA2016展示面積の6割以上に達する充実した内容を目指しています。BCI社による商談会（B to B）についても以前よりご案内しているとおりですが、今回は出展キャンセル待ちが多く出ている状況を考慮し、公平感を保った上で、出展できなかった企業についてもB to Bへの門戸を広げる方策について検討しています。JA2018 TOKYOは、エアショーとしてはパリ、フアンボロ、ベルリンなどに比べ規模的には制約の多い展示会ですが、主要官庁、企業や大使館等が集結した東京都心近くの、しかも交通の便の非常に優れた場所で開催されるものと自負しており、本展示会が各出展者のビジネス拡大の一助となることを確信しています。また、来場をご希望の方々へのご案内は、開催の数か月前から種々の媒体を通じてお届けする予定です。JA2018 TOKYOの成功と我が国航空宇宙産業の一層の発展に向け、SJAC職員一同一丸となって努力して参りますので、会員企業の方々をはじめとする多くの皆様のご引き続きのご支援をよろしくお願い致します。